

個別の移行支援計画

当校では、『個別の教育支援計画』を高等部卒業前に一人一人の進路先に応じて『個別の移行支援計画』に作成し直しています。目的は、生徒自身のことはもちろん、本人・保護者の願いを把握し、進路先、医療、福祉・労働等の関係機関と情報を共有し、卒業後も途切れのない支援を受けることができるようにするためです。

原本は卒業時にお渡しいたします。本人・保護者より進路先に提出するなどして、ご利用ください。学校では写しを卒業後5年間保管させていただきます。

移行支援会議

学校生活から社会生活へスムーズに支援が移行できるように、希望者を対象に高等部卒業の頃(2~3月)に会議を開きます。



本人・保護者、進路先等の担当者、学校職員が一堂に会し、『個別の移行支援計画』を基に、将来の生活についての希望や、配慮事項、支援内容等を共通理解し、進路先で必要な手続きや支援、準備等について確認します。